

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館

梅がほころび、鶯の鳴く頃となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

図書館では、「節分おはなし会」と映画上映会の開催を予定しております。ぜひご参加ください。

皆さんにお願いです。図書館の資料は、市民の皆さんの共有財産です。次に利用される方のことを考えて、資料は大切に扱ってください。資料に汚損・破損を見つけた場合は、お手数ですがスタッフまでお声かけください。専用の道具で修理しますので、ご自分では直さないようお願いいたします。

2月図書館情報

本館

児童

『節分おはなし会&ミニワークショップ』受付終了

日時：2月2日（日） 11：00～11：45

場所：図書館内グループ学習室・多目的ホール

対象：3歳～小学生 ※未就学児は保護者同伴

定員：20名(事前申込制)

一般 映画上映会『マイスマールランド』

日時：2月22日（土） 13：30～

上映時間：116分

場所：四万十市役所3階 防災対策室

対象：高校生～大人 定員：25名程度

詳細はホームページまたはお電話でご確認ください

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

■ → 休館日

一般展示

「三部作」

3部で1つの作品となる本を

集め展示しています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「じょんまん」

ジョン万次郎こと中浜万次郎に関する

本を展示しています。

場所：郷土展示コーナー

児童展示

「もふもふ」

2月22日の猫の日にちなみ、

猫を中心に「もふもふ」した動物の

本を展示しています。

場所：児童展示コーナー

特別展示

「MOE 絵本屋さん大賞」

雑誌「MOE」に掲載された

「MOE 絵本屋さん大賞 2023年」の

受賞作を展示しています。

場所：児童郷土棚柱側



新着本紹介



小説	『見えなくても王手』 佐川 光晴
『梅の実るまで』 高瀬 乃一	『楽園の楽園』 伊坂 幸太郎
『風の港』 村山 早紀	『啜う被告人』 前川 裕
『風待荘へようこそ』 近藤 史恵	アンソロジー
『口に関するアンケート』 背筋	『だから捨ててと言ったのに』 潮谷 駿 他
『ゲートはすべてを言った』 鈴木 結生	エッセイ
『公孫龍 巻4』 宮城谷 昌光	『『百年の孤独』を代わりに読む』 友田 とん
『雑草と恋愛』 群 ようこ	『老人初心者の青春』 阿川 佐和子
『そして少女は、孤島に消える』 彩坂 美月	『忘れ得ぬ人忘れ得ぬ言葉』 五木 寛之
『ダンス』 竹中 優子	文学
『潮音 第1巻』 宮本 輝	『このミステリーがすごい! 2025年版』
『天使は見えないから、描かない』 島本 理生	郷土
『遠くまで歩く』 柴崎 友香	『こじらせ男子とお茶をする』 島田 潤一郎 他
『二十四五』 乗代 雄介	『サイバラ10年絵日誌』 西原 理恵子
『遙かな夏に』 佐々木 譲	『深夜食堂 29』 安倍 夜郎
『羊式型人間模擬機』 犬怪 寅日子	『歴史を歩く』

心理学	自然科学
『人はなぜ物を愛するのか』 アーロン・アフーヴィア	『アザラシまるごとBOOK』 南幅 俊輔
宗教	『科学と倫理の交差点』
『うちのお寺は浄土宗』 小松事務所	『楽しい溶岩図鑑』 小白井 亮一
『うちのお寺は天台宗』 小松事務所	医学
旅行	『髪の毛の疑問50』 日本毛髪科学協会
『るるぶ沖縄 '26』	『死とは何か』
『るるぶドライブ中国四国ベストコース '26』	『わたしたちの中絶』 石原 燃 他
『るるぶ香港・マカオ '26』	料理
教育	『季節を味わう初めてのびん詰め』 qillilly
『学校に蔓延る奇妙なしきたり』 齋藤 浩	『古くて新しい今こそ大豆』 村上 祥子
政治	芸術
『私はこう考える』 石破 茂	『教養としてのジャズ』 村井 康司
防災	『教養としての日本の文様』 小松 大秀
『今さら聞けない防災の超基本』 永田 宏和	『樹木の描き方パーフェクトブック』 野村 重存

四万十市立図書館 利用案内

四万十市中村大橋通 4-10 ☎ 0880-35-2923

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています(守衛棟北側縦列駐車3台分)